

埋込形 (フラッシュプレート)

■適用機種一覧表

種別	フレーム(AF)	極数	品名記号			
			NA2052J	NA2053J	NA2102J	NA2103J
サーキット ブレーカ	50, 60	2P	NBE52JB・62JB NE52AB・62AB	—	—	—
		3P	—	NBE53JB・63JB NE53AB・63AB	—	—
	100	2P	—	—	NBE102JB NE102AB	—
		3P	—	—	—	NBE103JB NE103AB
ノトリップ スイッチ	50, 60	2P	NTS52JB, NT62B NT52AB・62AB	—	—	—
		3P	—	NTS53JB, NT63B NT53AB・63AB	—	—
	100	2P	—	—	NTS102JB NT102AB	—
		3P	—	—	—	NTS103JB NT103AB
漏電 ブレーカ	50, 60	2P	GE52JB・62JB GE52AB・62AB	—	—	—
		3P	—	GE53JB・63JB GE53AB・63AB	—	—
	100	2P	—	—	—	GE102JB GE102AB
		3P	—	—	—	GE103JB GE103AB

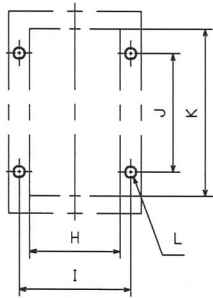
■フラッシュプレート組立図及び部品一覧表

名称	寸法 (mm)		数量 (個)	
	NA2052J	NA2102J	NA2052J	NA2102J
本体取付ねじ	M4×7.5		2	2
パネ座金	4		2	2
六角ナット	M4		2	2
パネル取付用セムスねじ	M4×10	M5×12	4	4
パネル取付用ナット	M4	M5	4	4
バリヤ	—	—	2	2

■フラッシュプレート組立手順

フレームとフラッシュプレートは、上下方向があります。フレームはUPの刻印が電圧側、フラッシュプレートはスプリングのある側が負荷側です。上下方向に注意して組立を行ってください。フレームをブレーカ本体に取付ける際は図11のようにファイバ製のバリヤを取付けた後、本体取付ねじを締付けてください。
締付トルク 1.5~2.5N・m

■パネル穴寸法



形式	各部寸法 (mm)						
	H	I	J	K	L		
サーキット ブレーカ	NBE52JF・62JF, NE52AF・62AF	68	78	66	140	φ5	
	NBE53JF・63JF, NE53AF・63AF	93	103				
	NBE102JF, NE102AF	91	101	66	181		φ6
	NBE103JF, NE103AF	126	136				
ノトリップ スイッチ	NTS52JF, NT62F・52AF・62AF	68	78	66	140	φ5	
	NTS53JF, NT63F・53AF・63AF	93	103				
	NTS102JF, NT102AF	91	101	66	181		φ6
	NTS103JF, NT103AF	126	136				
漏電 ブレーカ	GE52JF・62JF・53JF・63JF GE52AF・62AF・53AF・63AF	93	103	66	140	φ5	
	GE102JF・103JF GE102AF・103AF	126	136				

※ GE52JF・62JF・52AF・62AF・102JF・102AFは、3Pタイプの中盤を抜いたものになります。

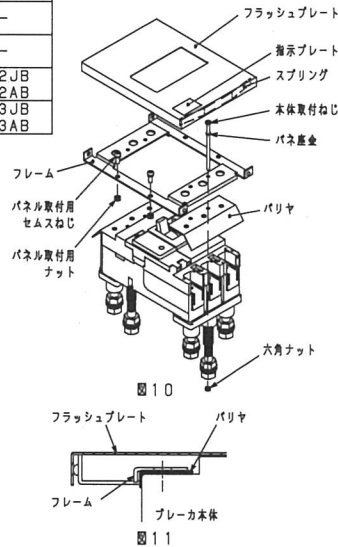


図10

図11

施工業者名	TEL	施工年月日	年 月 日
-------	-----	-------	-------

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2013年08月現在のもので、

バックスタッド フラッシュプレート

取扱説明書



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用 (操作・保守・点検) の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

	危険 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注意 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上の注意

	危険 ・通電中はスタッド、端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。
	接触禁止

	注意 ・保守・点検は、専門知識を有する人が上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
	感電注意

■施工上の注意

	危険 ・NBE102JB・103JB、NTS102JB・103JB、GE102JB・103JBの絶縁板Cは絶対に剥がさないでください。感電のおそれがあります。
	分解禁止

	注意 ・電気工事は、有資格者 (電気工事士) が行ってください。 ・ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物及び雨水等が遮断器内部に入らないように施工してください。動作しないおそれがあります。 ・スタッドに接続導体 (プスパー、圧着端子など) を接続するときは、スタッドに過度の力が加わらないようにしてください。ブレーカ本体、スリーブの破損の原因になります。
	発火注意

	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。
	感電注意
	スタッド取付けの際、スタッド固定ボルトは確実に締付けてください。火災の原因になります。

	配線作業は、上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
	感電注意

裏面形 (バックスタッド)

■施工上の注意

⚠ 危険	
⚡	・NBE102JB・103JB、NTS102JB・103JB、GE102JB・103JBの絶縁板Cは絶対に剥がさないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意	
⚡	・スタッドに接続導体(ブスバー、圧着端子など)を接続するときは、スタッドに過度の力が加わらないようにしてください。ブレーカ本体、スリーブの破損の原因になります。

■適用機種一覧表

種別	7L-k(AF)	極数	品名記号						
			NA1052J	NA1053J	NA1052EJ	NA1102J	NA1103J	NA1102EJ	
サーキット ブレーカ	50, 60	2P	NBE52J・62J NE52A・62A	—	—	—	—	—	—
		3P	—	NBE53J・63J NE53A・63A	—	—	—	—	
	100	2P	—	—	—	NBE102J NE102A	—	—	
		3P	—	—	—	—	NBE103J NE103A	—	
ノットリッ プスイッチ	50, 60	2P	NTS52J, NT62 NT52A・62A	—	—	—	—	—	
		3P	—	NTS53J, NT63 NT53A・63A	—	—	—		
	100	2P	—	—	—	NTS102J NT102A	—	—	
		3P	—	—	—	—	NTS103J NT103A	—	
漏電 ブレーカ	50, 60	2P	—	—	GE52J・62J GE52A・62A	—	—	—	
		3P	—	GE53J・63J GE53A・63A	—	—	—		
	100	2P	—	—	—	—	—	GE102J GE102A	
		3P	—	—	—	—	—	GE103J GE103A	

■バックスタッド組立図及び部品一覧表

名称	寸法 (mm)			数量 (個)		
	NA1052J NA1053J NA1052EJ	NA1102J NA1103J NA1102EJ	NA1052J NA1102J NA1052EJ	NA1052EJ NA1102EJ	NA1053J NA1103J	NA1103J
スタッド固定ボルト	M5×12	M8×15	4	4	6	6
平座金A	5	8	4	4	6	6
パネ座金A	5	8	4	4	6	6
ブラインド	—	—	4	4	6	6
スタッドS	175	184	4	4 (2)※1	6 (4)※2	6 (4)※2
スタッドL	—	1129	—	— (2)※1	— (2)※2	— (2)※2
ナベ小ねじ	M4×45	—	2	4	4	4
パネ座金	4	—	2	4	4	4
六角ナット	M4	—	2	4	4	4

※1 () 内の数値はNA1102EJの数量です。
 ※2 () 内の数値はNA1103Jの数量です。

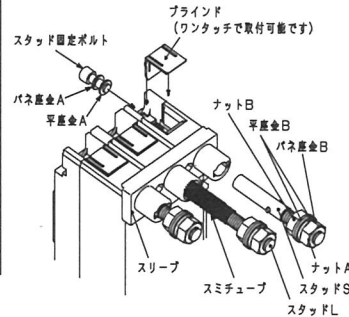


図1

■バックスタッド組立手順

- ブレーカ裏面の加工
 - NE52AB・62AB・53AB・63AB、NT52AB・62AB・53AB・63AB、GE52AB・62AB・53AB・63ABの場合
図2に示すブレーカ裏面の絶縁板Aを外してください。
 - NBE102JB・103JB、NTS102JB・103JB、GE102JB・103JBの場合
図3に示すブレーカ裏面の絶縁板Bを剥がしてください。絶縁板Bを剥がすと内部より六角ナットとナットホルダーが出てきますが、バックスタッドの場合は不要です。絶縁板Cは絶対に剥がさないでください。
(注) 絶縁板Cは絶対に剥がさないでください。感電のおそれがあります。
 - NBE52JB・62JB・53JB・63JB、NTS52JB・53JB・63JB、NE102AB・103AB、NT102AB・103AB、GE102AB・103ABの場合
図4に示すブレーカ裏面のカット部分をニッパー等でカットし、ブレーカ本体からD部を切離してください。
100AFはD部を切離すと内部より六角ナットが出てきますが、バックスタッドの場合は不要です。
- スリーブ及びスタッドの取付け
 - NA1102J・1103J・1102EJの場合
図5のようにスリーブの溝とスタッドの突起部を合わせてスタッドを挿入してください。
 - NA1052J・1053J・1052EJの場合
図6のようにスリーブの六角穴とスタッドの六角形状の位置を合わせてスタッドを挿入してください。
次に図7のように各部品をセットした後、ブレーカ本体にしっかりとスリーブを当て、スタッドをスタッド固定ボルトで仮締めします。NA1103JはスタッドLをブレーカ中極に、スタッドSをブレーカ左右極に取付けてください。
- スタッド固定ボルトの締付け
スリーブとスタッドに傾きがないことを確認し、スタッド固定ボルトを標準締付トルク一覧表の値で締付けてください。
- ブラインドの取付け
ワンタッチで取付可能です。図8のようにブレーカ端子部の溝にカチッと音がするまでブラインドを差込んでください。
- 接続導体(ブスバー、圧着端子など)の取付け
スタッドに接続導体(ブスバー、圧着端子など)を接続するときは、スタッドに過度の力が加わらないように注意してください。ナットBは標準締付トルク一覧表の値で締付けてください。

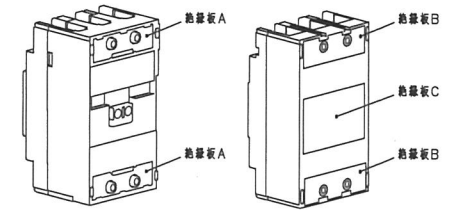


図2

図3

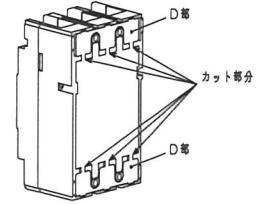


図4

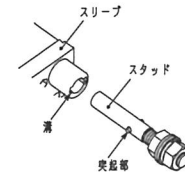


図5

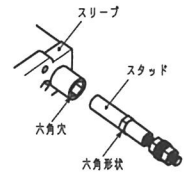


図6

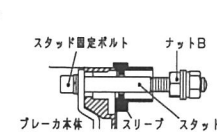


図7

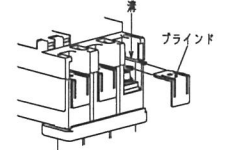


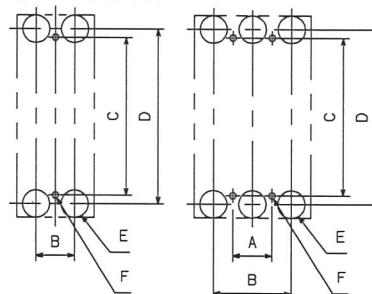
図8

■標準締付トルク一覧表

品名記号	標準締付トルクN・m	
	スタッド固定ボルト	ナットB
NA1052J NA1053J NA1052EJ	4~5	4~5
NA1102J NA1103J NA1102EJ	8~13	10~15

※ 図9のように標準的な腕の力は約200Nですので、締付具の柄の長さを5cmとすると約10N・mのトルクとなります。

■パネル穴明寸法



2P

3P

形式	各部寸法 (mm)					
	A	B	C	D	E	F
サーキット ブレーカ	NBE52JB・62JB, NE52AB・62AB (2P)	—	25	—	—	—
	NBE53JB・63JB, NE53AB・63AB (3P)	25	50	—	111	∅16 M4 (∅5)
	NBE102JB, NE102AB (2P)	—	30	—	—	—
ノットリッ プスイッチ	NBE103JB, NE103AB (3P)	30	60	132	134	∅21 M4 (∅5)
	NTS52JB, NT62B・52AB・62AB (2P)	—	25	—	—	—
	NTS53JB, NT63B・53AB・63AB (3P)	25	50	—	111	∅16 M4 (∅5)
漏電 ブレーカ	NTS102JB, NT102AB (2P)	—	30	—	—	—
	NTS103JB, NT103AB (3P)	30	60	132	134	∅21 M4 (∅5)
	GE52JB・62JB・53JB・63JB GE52AB・62AB・53AB・63AB	25	50	—	111	∅16 M4 (∅5)
GE102JB・103JB GE102AB・103AB	30	60	132	134	∅21 M4 (∅5)	

※ GE52JB・62JB・52AB・62AB・102JB・102ABは、3Pタイプの中極を抜いたものになります。